



資料館だより

No.13
2007年
7月号

過去と未来がひびきあう
ようこそ、エコミューズへ。
www.aozora.or.jp/shiryou/



エコミューズの看板 あちこち作成中 ぜひ、おこしてください

開館して1年たつにもかかわらず、じつは、エコミューズのドアや掲示板にかけていた看板は、古い名前のままでした。「ロゴマークも決まったし、よし、看板を一新しよう」と



1Fのエントランスです

いうことで、ビルのおちこちにエコミューズが出没することになりました。

2007年度は「次は中身を一新」ということで、展示のリニューアルを予定しています。興味のある方はぜひ、ボランティアで参加しませんか？お待ちしております。



どうぞ、いらっしやませ

みずしま財団からお客さま 公害地域の再生めざしてがんばろう

あおぞら財団のように公害地域の再生のために活動している団体があります。その中の一つが「みずしま財団」です。岡山県倉敷市といえば、「白壁の町」として有名ですが、新産業都市の水島工業団地があり、大気汚染公害が問題になりました。

みずしま財団でも、あおぞら財団と同じように資料を保存しようという動きがあり、「どのように整理していますか」と訪問がありました。公害資料の保存がひろがり「エコミューズ・みずしま」となればうれしいですね。

昭和初期ニュース映像 タイトル解読できました

前号のお知らせ欄でボランティア募集していた「昭和初期ニュース映像のタイトル解読筆記」ですが、おかげさまで作業が完了しました。ニュース映像の寄贈者である溝口重夫さんから「ボランティアで手伝いますよ」と申し出があり、溝口さんに助けられながらスタッフが目録を作りました。わかったタイトルの一部を紹介すると、こんな内容です。

- ・帝国の生命線へ 第八師混成旅団の出動(昭和6年11月14日東京日日新聞社)
- ・連戦連勝の凱旋3
- ・鉄道省製作 本邦極北の奇景
- ・金剛山の奇勝 京城
- ・捕鯨の話 第一巻 鯨の港 鮎川港
- ・震災後の日本恐ろしく荒れはてた都復興の為努力しつつある日本人
- ・南満州鉄道株式会社撮影 国境の唄

映像は全部で30分ぐらいです。エコミューズで観ることができます。

写真、ネガなどの寄贈受けました 西淀川公害に関するパンフレットに 使われた写真など多数

西淀川公害患者と家族の会が1988年に発行した『きれいな空気と生きる権利を求めて 大阪・西淀川公害裁判の勝利を』という冊子に使われた写真やネガ、スライドが



たくさんの写真やネガ

同会から寄贈されました。国道43号を走る自動車や西淀川の工場街の様子、病院で吸入する患者、対談をしたときの宮本憲一氏、西口勲氏の顔写真などがあります。これらの写真は冊子を作成した関西共同印刷で大切に保管されていました。これから整理し、目録にしていきます。

毎月発行しています
機関紙「青空」

1972(昭和47)年10月29日に西淀川公害患者と家族の会は設立しました。

「青空」は患者さんへ情報を届けるために毎月発行されています。公害に関する行政がどのような状況になっているか、それに対して患者側はどのような対応をし、どのように変わったのかという、公害行政の動きが読み取れます。また、患者さんたちが公害に関する法律について勉強した内容を読むことができます。

私たちが「社会に意見をいいたい」と思っても、どのような手続きがあるのか、どう交渉しているのかわからないというのが正直なところ



35年前の「青空」

です。公害という突然降りかかった被害に対し、だまって泣き寝入りするのではなく、意見を伝えていく、社会を変えていこうとした患者さんたちの活動は、「参加型まちづくり」の原型だと思います。

最新号は280号です。歴史の積み重ねを感じます。(林)

やかた
館
訪問記

その12.
温暖化のことが楽しい展示で学べます
ストップ おんだん館
東京都港区麻布台 1-11-9
<http://www.jccca.org/ondankan/>

エコミュージムは資料保存と資料の整理に力をいれてきましたが、展示はいまひとつで、つつい難しい展示をつくってしまいます。

「ストップおんだん館」はその名のとおり地球温暖化について学習できる施設です。参加型の展示でさわれたり、クイズに答えたりできる展示になっています。展示だけでなく、書籍コーナーやゲームができる空間もあります。「ぱっと見てわかる」「じっくり調べられる」「体験できる」と3つの要素がバランスよく組み合わせられた空間です。エコミュージムも見習いたいです。(最近こればかりですね。笑)



おっき絵本がある！

(林 / 2007年6月5日訪問)

お知らせ

第34回 西淀川地域研究会

西淀川にハンセン病療養所があったこと
知ってますか？

ハンセン病隔離政策のなかの外島保養院

日時：2007年7月19日(木) 18:30~20:30
会場：エコミュージム(あおぞらビル5F)
お話：松岡弘之氏(大阪市史料調査会調査員)

西淀川区中島には1909~1934年にかけて外島保養院という公立の隔離療養所が設置されていましたが、入所患者に自治を容認するという方針を取ようになります。隔離政策のなかでの外島保養院患者自治の意義を探ります。

資料代：200円
希望者は事前にお申しください。

ボランティア隊「エコミュウ」

あなたも「エコミュウ」に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。

交通費=実費支給(上限1,000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください。

編集後記 本紙表面で書きましたように、昭和初期のニュース映像の解説を溝口重夫さんが手伝ってくれました。溝口さんは財団が設立された当初から、ご自身が所蔵されていた映像や音声テープを寄贈して下さるなど、数々のご協力をいただいています。エコミュージムはこうしたボランティアさんに支えられています。

エコミュージムは青空を未来へ手渡す記録のひろば

「西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください」

開館 月曜日、金曜日(祝日は休み) 10:00AM~5:00PM TEL:06-6475-8885[要予約]

利用 図書の貸出し期限は2週間。書庫資料や裁判記録は閲覧のみ

「資料館だより」No.13 2007年7月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属

西淀川・公害と環境資料館(エコミュージム)

連絡先 〒555-0013

大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あお

TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885

Email: webmaster@aozora.or.jp

<http://www.aozora.or.jp/shiryou>

